

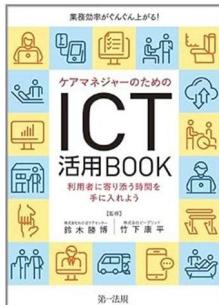


新着図書の中から一部をご紹介します

□ケアマネジャーのためのICT活用BOOK

鈴木勝博／竹下康平／監修

第一法規



介護現場のケアマネジャー向けに、ケアマネ業務でのICT化のメリットや、すぐに取り組めるICTの効率的な活用方法について、実例を用いながらわかりやすく解説。

□わたしがいる あなたがいる なんとかなる

奥田知志／著

西日本新聞社



著者は北九州市で生活困窮者を支援するNPO法人抱樸の理事長で牧師。2026年秋、抱樸の三十数年の活動の集大成ともいえる「希望のまち」が完成する。

□私の高齢者ケア論

川嶋みどり／著

医学書院



自らの加齢による変化を辿りながら、長年の看護師としての経験、老年看護学担当教員としての視点を重ねて高齢者ケアを捉え直す、個人的かつ主観的な高齢者ケア論。

□50代からのちょっと手話

全日本ろうあ連盟／編

全日本ろうあ連盟



普段のジェスチャーから簡単な手話へ進む入門書。イラストと動画で構成されており、聴覚に不自由を感じ始めた方が手話を楽しく学べるように作られている。

□子育てにとまどう母親たち

武井明／著

日本評論社



子どもに付き添って思春期外来を訪れる母親たちは、家族や周囲に振り回され、子育てに傷ついている。彼女たちの苦しみにベテラン精神科医が優しく寄り添う。

□怒りで後悔しない
アンガーマネジメント・プログラム長縄史子／著
星和書店

怒りのセルフコントロール・トレーニングのためのワークブック。ワークやエクササイズに関連して、きめ細かい解説とともに多くの研究結果も紹介されている。

□森にあかりが灯るとき

藤岡陽子／著

PHP研究所



お笑い芸人の夢を諦めて特別養護老人ホームで介護士として働くことになった星矢が、施設で働く人々の葛藤や絆を通して介護の現場に光を見出していく物語。

□もう一度、表舞台に立つために

君塚匠／著

中央法規出版



著者は55歳でADHDと診断された映画監督。数々の困難や挫折を経験しながらも、再び映画監督として「表舞台」に立つことを目指す、飾らない言葉と真摯なまなざしが詰まった一冊。